

附属学校最新情報紹介

学校名	埼玉大学教育学部附属中学校		
役職	P T A会長	氏名	田中 亜弓
活動名	心に寄りそう ～ かける言葉をポジティブに ～		



【子どもたちの想いを形に】 R 3年度～

子どもたちの意見を取り入れたP T A活動をしていこうと、美術の時間とコラボした中庭づくり。生徒が美術の時間に設計し、全校生徒が投票をして決まったデザインをP T Aが中庭に作りました。

出来上がったウッドデッキに腰かけて生徒たちは何を語り合っているのか。春にはピンクの花をつけるハナミズキだけが知っているようです。他にも生徒からの要望で校内に暖房便座を完備。体も心もホカホカトイレになりました。



保護者の学び

【違いを認める】 R 4年度～

P T A教育講演会で、ダイバーシティについて紐解き、多様性について考えました。「幸せの形は多様でありどんな形でも人は幸せになれる。」「親子でも違う人間」「丁寧に対応することが大切」と改めて気づききっかけとなりました。またそのダイバーシティへの取り組みとして、女子のスラックス導入開始や、生理用品を女子トイレに置き、困った時にすぐ使うことができることはもちろん、ジェンダーなどの観点から心身の健康サポートを始めました。

保護者の学び【心に寄りそう ～かける言葉をポジティブに～】 R 4年度～



思春期の心に親としてどう寄りそえばよいのか。スクールカウンセラーの先生（S C）のお話を聞き、そして意見交換、交流をしました。意見に共感したり、新たな気づきがあったり有意義な会となりました。

またS Cに相談することはハードルが高いと考える保護者の方が多かったので、いつでも気軽にS Cという「身近な心の専門家」に相談できることの広報の場ともなりました。



【SDG s 身近な優しさ】 R 4年度～

子どもの成長や卒業などで不要となった制服という資源の有効活用、家計のサポート活動をスタート。回収した制服をラックに吊り下げていつでも使えるように無償で提供。学校生活の中で制服が汚れてしまった、やぶれてしまった！そんな時も大丈夫。いつでも安心して使えます。無償提供してくださったみなさまに感謝です。



【子どもたちのとまり木】 R 5年度～

教室に入ることがつらい、居場所がない。心に疲れがたまったら「とまり木」に来て羽を休めることができます。S C不在の日はサポートスタッフの方や先生と教育相談室内にできた学習室で過ごせます。羽を休めて、また飛び立っていけるよう生徒同士、先生方、保護者みんなで見守ります。



【P T A】 優しさが広がり、心温かい学校生活が継続して送れるように、心に寄りそう活動を目指します。